

年度:2020年 LOM番号:342

【褒賞申請書】

事業名称	11月例会
カテゴリー	最優秀LOM個人能力開発プログラム

申請LOM	東北地区山形ブロック酒田青年会議所
LOMの人数	73名
理事長名	佐藤 愛
担当者名	荒生 卓真
担当者携帯番号	090-7525-7226 担当者Mail takuma.arao@gmail.com
事務局住所	山形県酒田市緑町19-25
事務局TEL	0234-24-9192 事務局FAX 0234-22-8438

本事業の参加者	会員数	72名
	関係者数	30名
	一般参加者数	0名
事業実施に至る背景 400文字程度	<p>酒田青年会議所は毎年11月例会はその年の新入会員が企画運営を担当する『新入会員例会』が開催されます。以下新入会員で考えた内容です。</p> <p>【事業に至る背景やテーマ選定】</p> <p>少子高齢化による人口減少が我々の住む地域のみならず日本全体で問題となっており、各自治体や国を挙げてその対策を議論しているところでもあります。しかしながら、少子化対策の議論を全国各地において行っていますが人口減少を食い止める議論がメインとなっております。子育て世代である、未来を創る運動を行う青年会議所が少子化対策よりも多子社会の有用性を運動として広げることで持続可能な社会を目指す必要があります。</p> <p>また、新入会員例会を開催するうえでテーマを模索していた際に北庄内の問題について議論しているときに、中心市街地活性化や少子高齢化の問題を訴えるメンバーがほとんどでした2019年『住みたい田舎ランキング』で上位に酒田市が挙がる一方、少子高齢化や高校卒者の県外輩出により、人口が10万人を切る勢いにあるということに危機感を覚え、当会議所の中心である、20~40代の『子育て世代』が持続可能な開発目標を考えることが必要である</p>	

	<p>と考えました。そんな中子供が少なくなる前提で議論を進めるのではなく子供を増やす議論をしたほうが明るい未来を考えられると感じられ、議論が活発化しました。今年度高校生の流出を抑制する事業もあったことから新入会員は子供をどうやって増やすかを真剣に考え、調査しメンバーの皆様と共有することで明るい社会の実現ができると確信しこのテーマの選定になりました。</p>
<p>事業目的 400文字程度</p>	<p>多子社会の必要性を認識してもらい、実践できる基盤づくりを行い、多子社会の為に沢山子供を産んでください…ではなく、お子様が欲しい方が心置きなく産んで、不自由なく育てていける地域を目指します。</p> <p>具体的には、</p> <p>①現在ある行政の子育てサポートを周知、利用してもらうことを目標とする (調査すると、様々な場所で、週2～3回は子育て行政主催の支援イベントが行われていることが分かった。だが、その周知方法が曖昧で、実際の利用者に届いていない、多くのイベントを行っていることを知らない、活用していない方が多い)</p> <p>②この地域にある、民間企業が提供するお子様向け商品、子育て支援サービスを知り、利用してもらい事を目標とする。 (①と同じように、多くの商品、サービスがあるのに、そのことを知らず、利用、活用されていない事が多い)</p> <p>③子供を中心に、様々な地域の方が繋がることを目標とする (行政、子供、祖父母、両親、叔父叔母、親戚の人、近所の方、企業などなど)</p> <p>④①・②・③を楽しみながら、一挙に体験、周知できる場所を提供する事を目標にする</p> <p>子供を中心に、様々な地域の方が繋がることのより、同じ悩みを持つ人、支えてくれる人、地域の暖かさ、豊かさ、便利なサービス、商品を知ること、「人と人 心の繋がり」の輪を築き上げること この「心の繋がり」の活動が広まることで、 この町で子育てがしたい！！と感じてもらうことを目標とする。</p>

SDGsの該当項目	(SDGsの該当項目を記載) 4、質の高い教育 10、不平等をなくること 11、持続可能なまちと地域社会 16、平和で公正な社会
-----------	--

事業概要  400文字程度	<p>メンバーに対して多子社会の必要性を伝えるために</p> <p><b>【1部】</b>          全国の出生率の高い市町村を調べその政策を調べ、我々の活動地域との差を調べ発表しました。</p> <p><b>【2部】</b>          現在の活動地域で行われている子育て支援の詳細を広めるための行動を寸劇で発表しました。</p> <p><b>【3部】</b>          更に多子社会に向けた事業を考えました。</p> <p>子供を中心にしたエキスポ(博覧会)を実施します          &lt;タイトル&gt;          North Shonai Child EXPO ～人と人 繋がる住民 大きな輪～</p> <p>①メインステージエリア(講和、発表会)(集う)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有名人(ママタレント)の講和、行政(子育て支援課)の講和</li> <li>・各幼稚園、保育園、こども園のお遊戯発表</li> <li>・習い事発表会(ダンス、ピアノ、他)</li> <li>・介護施設、シルバーサークル、各町内会、発表</li> </ul> <p>②中央ホールエリア(繋がるきっかけの提供)</p> <p>Aゾーン〇〇体験:餃子作り、そば打ち、割りばしピストル、デコ海苔巻き</p> <p>Bゾーン〇〇教室:英会話、体操、ストレッチ</p> <p>Cゾーン模擬〇〇屋さん:写真家屋さん、消防士、警察制服着てみる</p> <p>Dゾーン〇〇相談:子供年齢別相談窓口(時間割ごとに同世代ママの悩み相談。悩みを共有することで距離縮める)</p>
---------------------	--

	<p>③民間企業出展エリア あくまでも商売ではなく、子育てにかかわる企業が出展し、PR する</p> <p>④行政サービスエリア 行政で行っている、子育て支援イベントを PR する</p> <p>(開催予定) 3月上旬に3日間開催予定 (保育園、幼稚園、こども園の募集期間に合わせるため)</p>	
開催期間・ タイムスケジュール	11月7日(土)19:00~21:00	
開催場所	ルポットフー	
事業区分	新規	
公益・共益区分	共益	
事業総予算・収支	<p>予算計:30,000円</p> <p>支出計:30,000円</p>	
協力団体	共催	
	協賛	
	後援	
	その他	
事業対象者	酒田市民、酒田市役所、出展協力企業様皆様	
<p>行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度</p>	<p>(事業調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業伍の活動について記入)</p> <p>人口減少を食い止めるのではなく、人口を増やすにはそうするかを考える</p> <p><input type="checkbox"/>事前調査</p> <p>①岡山県勝田郡奈義町現地視察(出生率増加日本一の町)</p> <p>②酒田市の政策と奈義町との政策を比較</p> <p>③酒田市青年会議所内のお子様3人以上いる方にインタビュー</p> <p>④一般市民の方へアンケート</p> <p>※行政サポート内容頻度に違いはほぼ無し、市民町民の周知度に差あり</p> <p>※人と人の距離に違いあり(奈義町は現役ママ、先輩ママ、これからママの距離感がすごく近い)</p>	

	<p>□立案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が地域酒田市の行政サポートを周知、利用してもらうこと</li> <li>・民間も含めた地域企業のサポートを知る、体験すること</li> <li>・様々な地域の方がサポートしてくれることを体験し</li> </ul> <p>出産、子育てへの不安を払拭し、お子様を中心とした SDGsの推進に寄与する</p> <p>□会議の流れ</p> <p>新入会委員で集まり、右も左もわからない状態でスタートし 約4か月間、毎週3日、合計約50回のミーティングと個別の作業を重ね、 11例会当日を迎えました</p> <p>□実施活動</p> <p>11例会時にすべてまとめ、プレゼンテーション致しました。 (会場にいるロムの先輩方を飽きさせないように、演劇風に発表、BGM、照明など、内容はもちろんの事「見せ方」にもこだわりました)</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>11例会発表後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年の委員会事業にしてもいいのではないか</li> <li>・来年は女性理事長なので、ピッタリではないか</li> <li>・北庄内ではこのようなイベントはないので、楽しそうだ</li> <li>・毎年、行えばだんだん参加者は増えていこう</li> </ul> <p>などのお声を頂きました</p>
	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>対内例会の為、ロム内に発信</p>
<p><b>地域社会への影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>対内例会の為、LOM内に発信しました</p>

<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>酒田青年会議所では、右も左もわからない、新入会員が作る11月例会は例年出席率が高い例会だといわれいる。</p> <p>なぜなのか…それは面白いから、なにが出てくるかわからないからワクワクする。楽しみだ…と。そして、今年の11例会も出席率は高かった。今年の新入会員は、ここ10数年では一番多い、27名が入会した。</p> <p>11例会で感じて頂いた、27人のパワーは、次年度、私たち27名がメインの委員会を作っていたら、今年も同期皆で活動することとなった。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が期待される長期的な影響を記入)</p> <p>酒田 JC では例年、右も左もわからない新入会員が11月の例会を担当します。入会した瞬間、言わば強制的に「地域の事」を考えさせられるのです。昨日まで全く考えたこともないのに…。</p> <p>でもそれが、これから始まるJC活動の、すごく良い入口になっていることは間違いありません。</p> <p>そして何より、問題にともに立ち向かった同期の絆は固く強くなりました。</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>11月例会では同期達がみな例年</p> <p>「あれだけ頑張って考えて、準備したのに、11月例会が終わったらその後何事も無く、あれ？終わり？」っとなっている。</p> <p>11月例会が実際、次年度の理事長所信に取り入れていただき、委員会ができ、事業として1年間取り組んで頂くことが、11例会の最大のゴールだが、せめて関連のあるような(11月例会に為にがんがった物が役立てるような)委員会に新入会員を配属させてあげてはどうだろうか。</p> <p>また、メンターのような先輩会員が、個々の特性を見て、委員会配属のアドバイスをこなうこともよいと思う。</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>JC ルールを全く知らないの、メンターのような、なんでも相談できる先輩会員は配置してほしい</p>
<p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p>
<p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p>



(AWARDS TOHOKU 2020 申請概要)

会員拡大委員会 副理事長 荒生 卓真

北庄内人口増加計画 ～人口増加で広がる未来～

11月例会

一般社団法人酒田青年会議所は2019年11月2日土曜日に「11月例会」を酒田市ルポットフーにて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この11月例会は多子社会の必要性を認識してもらい、実践できる基盤作りを目的として開催されました。

現役会員約60名、新入会員約30名の合計90名の方々へプレゼンを行えたという結果、目的を達成する事ができました。

<p><u>11月例会</u></p>	<p>写真1</p> 
<p>詳細な事業内容</p> <p>期日:19年11月2日</p> <p>会場:酒田市ルポットフー</p> <p>(事業内内容)</p> <p>新入会員だけで一つの例会を作ります 多子社会に向けて手法を発表しました。 具体的な内容としましては、子供を中心にしたエキスポ(博覧会)を実施するということです</p> <p>North Shonai Child EXPO ～人と人 繋がる住民 大きな輪～</p> <p>①メインステージエリア(講和、発表会)(集う) ②中央ホールエリア(繋がるきっかけの提供) ③民間企業出展エリア ④行政サービスエリアなどのゾーン分けを行い博覧回の計画をプレゼンしました。</p>	<p>写真2</p> 
	<p>写真3</p> 